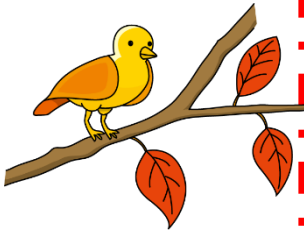




11月号 2018年11月21日(水) 豊田西高校 SS委員

あいち科学の甲子園 トライアルステージ 報告



平成30年10月20日(土)、愛知県立明和高等学校で「あいち科学の甲子園」トライアルステージ「」が実施されました。本校から2年生12名が、2チームに分かれて競技に臨みました。50分間の実験競技と、60分間の筆記競技があり、実験競技では6人が協力して課題の解決に取り組み、筆記競技では6人が分担したり、相談したりして物理・化学・生物・地学・数学・情報の各科目の問題に取り組みました。



実験競技の様子

感想

大学の入試にはない仲間と協力して行う実技の問題もあり、良い経験になった。

科学の甲子園の為に勉強してきたことは受験勉強につながる。

ハイレベル高校が集まって競うので、この緊張感は受験にも役に立つ。

知識よりも思考力に重点を置いた問題が多かったので後輩たちにもぜひ挑戦してほしい。

チームを作って挑戦するので、仲の良い人と科学の甲子園に向けた学習を通して日常に根ざした科学について知ることができて科学に対する興味が強まった。

他校は女子の生徒も多く参加していたので、来年は西高でも女子生徒が活躍してほしい。



今月の科学

宇宙科学というものが、ここ最近で急速に発達しつつある。将来的に、月にエレベーターで行けるようになるかもしれないなどと言われていて、注目すべきものがある。中国の成都市の宇宙開発業者は、2020年に人工の月を打ち上げることを発表した。これは、太陽の光をソーラーパネルで反射させ、街灯の代わりに夜の街を照らし、コストの削減を主に考えた計画である。これは、直径10~80kmの範囲を、夕方の時の明るさで照らすことができると考えられている。これは、2020年に打ち上げ、展開起動をし、調整などをした上で2022年から本格的に使用するらしい。この企画が成功したならば、冬の夜明けを早くし、日没を遅らせることや、災害で停電した時には非常灯の代わりにもなるので、頼りがいのあるものになるだろう。しかし、人間の生活リズムや、動物の行動時間にも影響が出てくるので、そこがどうなるのかにより評価は変わってくるだろう。

このように、宇宙科学が進歩することによって私たちの生活は豊かになってくるだろう。今後も科学技術によって、地球の未来がどのような環境になるか注目していきたい。

SSH 成果発表会感想(1年生男子生徒)

先日、僕にとっての初めてのSSH成果発表会が行われました。先輩方の多種多様で興味深い研究に目を見張るばかりでした。先輩方が3年間積み上げてきた努力の結晶だと感じました。時間がない中でこれほどの発表ができるのは、西高生なのだからだと思います。これから自分たちは、課題研究に取り組むものとして、西高というレベルの高い環境の中で、日々精進できることに感謝しながら生活していきたいと思っています。これからの生活の中で生かしていきたいです。



ポスターセッションの様子

